

教材教具名 「テーブルシアター」	教科(国語)	
教材教具写真		
		
教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
<p>1 ねらい</p> <p>ペープサートや人形の動きに興味をもったり、話の筋を大まかに理解したりして見聞きする力をつける。</p> <p>ペープサートや人形をストーリーに合わせて動かしたり、動きに合わせて発声したりすることを楽しむことができるようにさせる。</p> <p>2 発達段階</p> <p>自分から絵本を見ようとすることはまだないが、繰り返しのある簡単なストーリーの物語に興味をもち始めた段階の児童。</p> <p>3 使い方</p> <p>国語の授業の始めに「おはなしでてこい」という内容を組み、ペープサートや人形を使って簡単な筋の物語の見せ聞かせをする。</p> <p>&lt;ペープサート劇「大きなかぶ」&gt;</p> <p>「大きなかぶ」のお話に合わせて、教師二人でペープサートを動かす。(かぶについた棒にペープサートを順に差し込み、「うんとこしょ、どっこいしょ。」のかけ声に合わせて棒を引くと、登場人物のペープサートが前後に動く。)</p> <p>お話を見聞きした後、ストーリーに合わせて児童がペープサートを選び、棒にさして引き、かぶを抜く場面や動きを楽しむ。</p> <p>&lt;積み木ペープサート劇「ぞうくんのさんぽ」&gt;</p> <p>ストーリーに合わせてカバやワニなどの積み木ペープサートを積んだり動かしたりしてみせる。</p> <p>&lt;人形劇「3匹のやぎのがらがらどん」&gt; 省略</p>		
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)		
<p>繰り返しのある簡単なストーリーであることから、どの児童も興味をもち展開を理解して見聞きすることができた。さらに、児童が自分で登場順にペープサートを選び、教師の話に合わせて動かすことを楽しむことができた。「おおきなかぶ」については、もう少し小さく作った方が扱いやすいかもしれない。</p>		